



にほしま



ハ ワ イ 王 朝 史

切手で綴る

王国旗のハワイアンキルト
当館蔵

建国の父

カメハメハ1世

1778年1月18日 イギリスの航海探検者であるキャプテン・ジェームズ・クックが偶然ハワイ諸島を発見。1784年 約12年にわたったクックの「太平洋調査報告書」がイギリスで出版されると、イギリスは勿論、スペイン、フランス、アメリカ、ロシア各国の商船が、水や食料の補給基地として盛んに寄港するようになった。

とりわけイギリスの商船は、中国で香料や高級家具の材料として高値で売買されている白檀の木が自生していることに目を付け、先住民との取引を活発に始めた。

当時のハワイは互いに覇権を求める部族間の争いや、部族内の主導権を巡る争いが絶えず“戦国時代”であった。その中の部族長のひとりカメハメハ1世は、1791年 白檀貿易で親交のあったイギリス人ジョン・ヤングとアイザック・デイヴィスから戦場で直接砲術の指導を受け、ハワイ島を平定、マウイ島・カウアイ島に加え3島を支配下に収めた。

1795年2月 オアフ島・モロカイ島を支配していた部族に闘いを挑み、ハワイ史上空前の戦場になったヌアヌ・パリで雌雄を決し、ハワイ統一を手にした。

しかし、行く手には度重なる内乱による国土の疲弊と人心の荒廃、国としての制度の整備、財政の確保のほか、何よりも欧米の列強の脅威に対抗する国防の備えなど課題は山積であった。

イギリスの保護領となることは国の安泰への近道ではあったが、あくまでも国民生活の幸福、国家の繁栄と尊厳を求めていばらの道を選んだ。


カメハメハ3世

王位を継承したカメハメハ3世は、憲法を發布し立憲君主制を敷きアメリカと修好条約を締結、国家を安定を図り、郵便制度を整えるなどインフラの整備をして人々の暮らしの向上に尽力した。

1795

カメハメハー世
(1795~1819)

カメハメハ1世 ハワイ王国を樹立



1894年に発行された
カメハメハ1世の切手

1819


1824

カメハメハ二世
(1819~1824)

カメハメハ大王の長男(リホリホ)
即位直後に古代宗教の禁制を廃止
ボストンからキリスト教宣教師が伝来しキリスト教が広まる
王妃と共にイギリスを外遊中、ロンドンで客死

カメハメハ三世
(1824~1854)


カメハメハ二世の弟(カウイケアオウリ)が12歳で即位
カフマヌ(1世の王妃)と首相カラニモラ(族長の一人)が摂政
ハワイの国家体制を確立 外国人を政府に登用 最初の憲法、刑法を制定
ハワイを独立国家として、アメリカ、イギリス、フランスが承認
土地制度の改革により、外国人の土地所有を認める
砂糖きびのプランテーションを開発



1854

カメハメハ四世
(1854~1863)


カメハメハ大王の孫(アレクサンダー・リホリホ)
砂糖産業による白人資本家の台頭
砂糖きびプランテーションの労働力不足



1863

カメハメハ五世
(1863~1872)

カメハメハ四世の兄で独身(ロット・カメハメハ)
内務大臣・大蔵大臣の経験あり
外国人資本家に対抗するハワイ人保護主義にたち、新憲法を制定
国民に選挙権が与えられ、貴族と選出議員による議会が発足




1873

1874


ルナリロ王
(1873~1874)

カメハメハ大王の異母弟の孫(ウィリアム・カナナ)
カメハメハ五世に後継者がなく議会により選出
即位後1年あまりで病死



カラカウア王
(1874~1891)

ルナリロの祖母方の又いとこ(デーヴィッド・カラカウア)
議会により選出
砂糖産業の最盛期
日本人移民導入に努力
日本を訪れ明治天皇と親交を持つ
ハワイ文化復興に努力




1891

1893


リリウオカラニ女王
(1891~1893)

カラカウア王の妹
ハワイ王朝最後の君主
音楽の才能に恵まれ、「アロハ・オエ」を作詞・作曲



1795

カメハメハー世 即位



1851年に発行された宣教師切手

1810

カメハメハー世 ハワイ諸島を統一
白檀貿易が国家収入の柱となる

1819

1820

1824

カメハメハ二世 即位 タブーが撤廃される
アメリカからキリスト教宣教師団到着
カメハメハ二世 イギリスで客死
カメハメハ三世 即位

1835

1839

カウアイ島コロアに最初のプランテーション製糖会社が発足
人民の権利や法による平等の保護を約束した「権利宣言」公布

1840

1842

ハワイ憲法公布 立憲君主制成立
ハワイの独立 アメリカが承認

1845

1846

1848

第1回ハワイ議会招集 ホノルルが首都に
ハワイを基地とする捕鯨船600隻以上
マヘレ法制定 ハワイの土地を王領地・官有地・族長領地に三分割

1850

クレアナ法制定 庶民や外国人も土地所有が認められる

1850年郵便局開設

1851

1852

ハワイ最初の切手が発行される
新憲法発布 奴隷禁止 男子普通選挙

1856

1858

1860

新聞「ホノルル・アドバタイザー」創刊
カラカウア王、ハワイ貴族院議員に選出される
日米修好通商条約批准のためポーハタン号がホノルルに臨時寄港

1863

1864

カラカウア郵政長官に就任
カメハメハ5世 1852年の憲法廃棄と議会を閉会 新憲法公布
移民局を開設

1866

1868

ヴァンリードが駐日ハワイ総領事に任命される
最初の日本人移民(元年者)が到着

1871

1873

1874

日布修好通商条約を締結
ルナリロ王 選挙で選ばれ即位
1864年の憲法を修正して公布
カラカウア王、選挙で選ばれて即位 初の訪米

1878

リリウオカラニ 「アロハ・オエ」を作詞

1881

1882

カラカウア王、世界周遊の旅に出る 日本を訪問
イオラニ宮殿を建設

1885

第1回官約移民到着

1887

アメリカに真珠湾の独占使用を認める
ハワイ国憲法改正 王権の弱体化

1889

1891

ウィルコックス 1864年の憲法復活を訴え、反乱
カラカウア王 サンフランシスコで病没
パイナップル缶詰試作に成功

1893

リリウオカラニ女王 新憲法を制定
仮政府樹立を宣言 暫定政府が発足

1894

1895

白人勢力 ハワイ共和国を宣言 ドール元最高裁判事が大統領に
リリウオカラニ女王 退位に同意



ハワイ州立文書館蔵

1850(嘉永3)年に開設したホノルル郵便局



未使用葉書



1890年12月14日消印
山口県宛の葉書



1891年3月24日消印
神奈川県宛の葉書



1892年10月28日消印
神奈川県宛の葉書



暫定政府と印字された王朝時代の切手と封筒

資料はすべて当館蔵

郵便局

1850年12月 カメハメハ3世はホノルルに郵便局を設立。郵便料金、ハワイ各島及び太平洋横断の輸送・配達網の整備、切手の発行などに関する諸規則を定め、初代局長にはヘンリー・M・ホイットニーを任命した。

翌年10月 第一号の切手が発行されたが、その肖像画はカメハメハ大王と思われたが、意外にも宣教師たちが利用するための切手2セントのものであった。

5年後の1955年には郵便物の取扱量が約5万通に達し、ハワイの人々には欠かせないコミュニケーション手段として成長した。

* ヘンリー・M・ホイットニー

宣教師の息子。パンフィックコマーシャルアドバタイザー(後のホノルルアドバタイザー)を発刊

郵便局からのお知らせ

1851年10月1日 公示

合衆国郵政法の運用が同年7月1日より開始されたことに伴い、ハワイ郵政法で定められていた郵便物の価格改定をした。

郵便物一通についての料金は以下の通り。

郵便物料金一覧

* の印がついている郵便物は事前の支払い(プリペイド)が必要。

ハワイ郵政法

(ハワイ諸島内)

合衆国郵政法

(合衆国内)

合計

サンフランシスコ行	5c	*
サンフランシスコ経由 カリフォルニア州、オレゴン州	5c	*
サンフランシスコ経由 メキシコ沿岸	5c	*
パナマ諸島	5c	*
サンフランシスコ経由 南米	5c	*
送料払い済の場合、合衆国東海岸	5c	*
送料未払いの場合、合衆国東海岸	5c	*
送料払い済の場合、カナダ国内	5c	*
送料払い済の場合、イギリス及びアイルランド	5c	*
ニューヨークを出港するイギリス船籍を使用したヨーロッパ全土	5c	*
ドイツ・ブレーメン(ブレーメン蒸気船を利用した場合)	5c	*
ドイツ・ハンブルグ	5c	*
ドイツ国内	5c	*
シドニー・オークランド及びイギリスが所有するオーストラリア植民地	5c	*
香港・広東・マニラ・タヒチ・バルパライソ(チリ)その他外国の港	5c	*
外国からの郵便物を受取る場合	5c	*

島内の郵便物

島内の郵便物は無料。その時の港の状況に応じて郵便物は発送される。
通常、ラハイナ行の郵便物の受付は毎週火曜日と金曜日の午後4時に締め切る。

サンフランシスコ行郵便物

郵便物はサンフランシスコ港の保管庫に毎月5日締め8日発送、20日締め24日発送する。

切手

2, 5, 13セントの切手はホノルル郵便局と近くの取扱店で取り扱う。
不要な場合は返金も可能。
ラハイナ地域(マウイ)では郵便局長ホフメイヤー氏から購入できる。

新聞等

外国からの新聞等の受取については、ハワイ郵政法で2セントの手数料が必要。
新聞一部、1オンス(約28g)以下の場合
カリフォルニア州、オレゴン州からの新聞一部につき、別途料金4セント*が必要。
東海岸からの新聞一部につき、別途料金7セント*が必要。
イギリスからの新聞一部につき、別途料金9セント*が必要。
ヨーロッパ全土からの新聞一部につき、別途料金11セント*が必要。
新聞、雑誌、未包装、丸めた郵便物、手形、銅板印刷物、パンフレット、定期刊行物、書籍などの受取ははいずれも前払いされたもののみの取り扱いとなる。

未達の郵便物の取り扱いについて

1851年10月1日以前のもの、1851年12月31日までに合衆国内から発送され、ホノルル郵便局で保管されている郵便物については

1852年1月1日に合衆国の宛先不明の郵便物を取り扱う部署へ返却する。

- ☞ 配達時間は9-16時。
合衆国からの郵便物が安息日に到着した場合は15時に業務を開始するが、この日の配達時間は15分のみ。
- ☞ 宛先が外国の港着の郵便物等は事前の支払いがなければ取り扱いはしない。
- ☞ 事前の支払いが必要な郵便物は配達はない。

1851年10月4日 The Polynesian

POST OFFICE NOTICE.			
By the recent U. S. Postal Law which went into operation on 1st July, and also by the recent Hawaiian postal law, the rates of letter-postage have been much altered and reduced. The following are the rates of single letter-postage now established: And for every half-ounce beyond the first half-ounce, a similar rate is added.			
OF LETTERS FOR	Hawaiian.*	U. S.	Total.
San Francisco City,	5c *	3c	8 cts.
Any other part of California, or Oregon, via San Francisco,	5c *	5c *	10 cts.
Coast of Mexico, via San Francisco,	5c *	5c *	10 cts.
Panama, "	5c *	5c *	10 cts.
South America, via San Francisco,	5c *	5c *	10 cts.
United States east, if prepaid,	5c *	5c *	10 cts.
United States east, if U. S. is unpaid,	5c *	13c	18 cts.
Any part of Canada, if prepaid,	5c *	18c	23 cts.
Any part of Great Britain or Ireland, if prepaid,	5c *	31c	36 cts.
Any part of Europe, if sent from New York by British packets,	5c *	12c	17 cts.*
Bremen, (per Bremen steamers)	5c *	27c	32 cts.*
Hamburg, "	5c *	23c	28 cts.*
Any other part of Germany, "	5c *	39c	44 cts.*
Sydney, Auckland, or any part of British Australian colonies,	5c *		
Hong Kong, Canton, Manila, Tahiti, Valparaiso, or any other foreign port,	5c		
On all single letters received from any foreign ports, and foreign postage, if any,	5c *		
NEWSPAPERS.—The Hawaiian postage on each newspaper forwarded or received through this office is 2 cents, to or from any foreign post.			
On each paper weighing one oz. or less, to any part of California or Oregon, 4 cents.*			
On each paper to any part of U. States, east,		7 cts.*	
" " " " Great Britain,		9 cts.*	
" " " " Europe,		11 cts.*	
The above will be the rates on every transient newspaper, unsealed circular, hand-bill, engraving, pamphlet, periodical, magazine, book, and every other description of printed matter, to be in all cases prepaid.			
MAILS FOR SAN FRANCISCO are made up and despatched about every fortnight. Due notice of the closing of each mail will be given. Mails are made up at the San Francisco P. O. for this port, on the 5th and 20th of each month, and are due at this port about the 8th and 24th of each month.			
INTER-ISLAND MAILS.—No postage is charged on letters passing between the Islands. Mails are made up and despatched to the different island ports by every opportunity.			
The regular mail for Lahaina is made up every Tuesday and Friday, closing at 4 o'clock p.m., and in returning, leaves Lahaina every Monday and Thursday evenings.			
STAMPS of the denomination of two, five, and thirteen cents, have been issued, and can be obtained at the Post-office. They will be found convenient to persons residing on the other islands, and will at any time be accepted, when returned to the office. Postage Stamps can also be procured of S. Hoffmeyer, Esq., Postmaster for Lahaina.			
DEAD LETTERS.—All letters advertised on or previous to October 1st, 1851, and remaining in the Honolulu Post-office on the 31st December, 1851, will be classed as dead letters; and such as have been received from the U. States, and having U. S. postage due thereon, will be returned to the United States' Dead Letter Office on the 1st Jan., 1852.			
Hours for delivery of letters—from 9 A. M. till 4 P. M. In case of the arrival of a U. S. mail on the Sabbath, the office will be opened at 3 P. M., and remain open for delivery of letters, 15 minutes only.			
No Letters or Papers addressed to foreign ports will be forwarded unless the Hawaiian Postage is prepaid.			
No letters received will be delivered or forwarded from the office till the postage due thereon is paid.			
* All postage marked with a star, must, in all cases, be prepaid.			
HENRY M. WHITNEY, Postmaster.			
Honolulu, October 1, 1851. 21-3m. 1am			